

西北五ごみ処理施設湖岸設置絶対反対決起大会・開催

「漁民五百人が反対集会」

日本海沿岸13の漁協で組織する、西北五ごみ処理施設湖岸設置絶対反対現地対策本部は一月十七日、市浦村コミュニティセンターに漁業関係者約五百人を集め、西北五環境整備事務組合（管理者・成田守五所川原市長）が中里町の十三湖岸付近に建設を進めている「ごみ焼却処理施設」に対し、反対決起大会を開いた。

冒頭、工藤本部長は、「湖岸に建設すれば、シジミ等に悪影響を及ぼすのは確実。消費者においしく安全な水産物を提供するのが漁業者の責務。場合によっては工事差し止めの提訴も考え闘おう」とあいさつ。

続いて漁業者代表三名が意見表明を行い、口々に不安や懸念を訴えた。さらに支援団体として県漁連の植村会長、西北水産振興会の山本会長が「地場産業を守るのは、地元行政である。漁業の果たす役割は大きく自信と誇りを持って安全な食料を供給している。従って施設には絶対反対」とあいさつした。

最後に、「ごみ処理施設の湖岸設置は、十三湖及び日本海一帯の各種漁業活動、漁業資源保護等に多大な影響と漁業被害を与える恐れがあり、また住民の不安も大きく湖岸設置には絶対反対」の大会決議案を満場一致で採択した。

大会後、参加者は五所川原市役所周辺と市浦・

西北五ごみ処理施設湖岸設置絶対反対決起大会決議

新世紀の幕開けにあたり、十三湖漁業始め日本海漁業に従事する我々漁業者は、漁業の新たな飛躍に希望と確信をもって、その一歩を踏み出したところであります。

また、二十一世紀は地球環境と共生する時代と云われ、漁業にとっても国民の食糧供給の重要産業として水産物の安全性の確保、資源、漁場環境の保全に万全を期し、漁業の振興に決意を新たにしているところであります。

このような新しい時代に、十三湖岸にごみ処理施設を設置することは、時代に逆行した全く漁業を無視したものであると云わざるを得ず、特に水系を考えると十三湖の中に建設するに等しく、到底理解出来ないところであります。我々は今日まで関係機関の指導と協力を得ながら、数十年に及ぶ増養殖技術の研鑽と懸命の努力の積み重ねにより、シジミ貝を主体とした日本海で最大の増養殖漁場に築き上げてきたところであります。今や十三湖のシジミ貝は10数億円の安定した生産額を誇り、関係漁業者は400～500人に及ぶ一大産業となるに至っており、更に全国的にその評価を得ており子々孫々に伝えていく義務があります。

この日本海的重要漁業産業の場である十三湖の漁場環境に一旦影響が生じれば十三湖のみならず、十三湖に連なる日本海沿岸一帯の漁業に深刻な漁業被害を与えることは明らかであります。

よって、西北五ごみ処理施設の湖岸設置は、十三湖及び日本海一帯の各種漁業活動、漁業資源保護等に多大な影響と漁業被害を与える恐れがあり、また、住民の生活環境保全の上でも重大な不安があるので、湖岸設置には絶対反対するものであります。

以上、決議する。

平成13年 1月17日

西北五ごみ処理施設湖岸設置絶対反対決起大会

車力両村役場周辺を二班に分かれデモ行進。事務組合と両村長あてに決議文と建設地の変更を求める要請書を手渡した。



挨拶を述べる工藤本部長



大会風景



五所川原市デモ行進

「第10回活力と魅力溢れる漁村づくり 日本海地区大会」開催

午前9時のシジミシンポジウムから一転して、午後からは青森県漁村活性化対策協議会主催による「第10回活力と魅力溢れる漁村づくり日本海地区大会」が開催された。

本大会の開催趣旨は、「豊かな食文化（グルメ）」「清澄なる居住環境」「永久就業」の三本柱を兼ね備えた漁村づくりのための漁業者自らが漁村に生きる喜びを再認識し、その活性化を図るとともに県民に広く漁村文化と漁業者の活力を印象付け、魚食の普及と漁村への理解を深めることを目的に五所川原市で開催されました。

日本海地区での開催は二回目となるが、開催にあたり植村正治大会長は「二十一世紀を迎え、我々は、二十一世紀は漁村の時代と標榜してきた。今後はこの地場産業を守っていくことが大事である。住み慣れたすばらしい漁村を子孫へ引き継いでいくという責務があり、これは大きな財産である。漁村のイメージは良くないが意



熱唱する北見恭子

識の転換により、健康、環境、協業ができるというすばらしい漁村づくりを進めていかなければならない。人生に希望を持って各地区において開催され、今回で十回目となる。日本ほど漁港が整備されている国は他にない。有効に活用しながら資源を守り、この大自然の中で希望を持って生きていくことが大切である」と挨拶した。

この後、カラオケや郷土芸能が行われ、最後に歌謡ショーとしてコロナビアレコードの北見恭子ショーがあり、会場内は熱気に包まれ惜しめない大きな拍手が送られ、大会は盛会のうち無事終了した。



津軽深浦北前太鼓



鹿獅子舞



べごおどり

青森県農林水産部新設

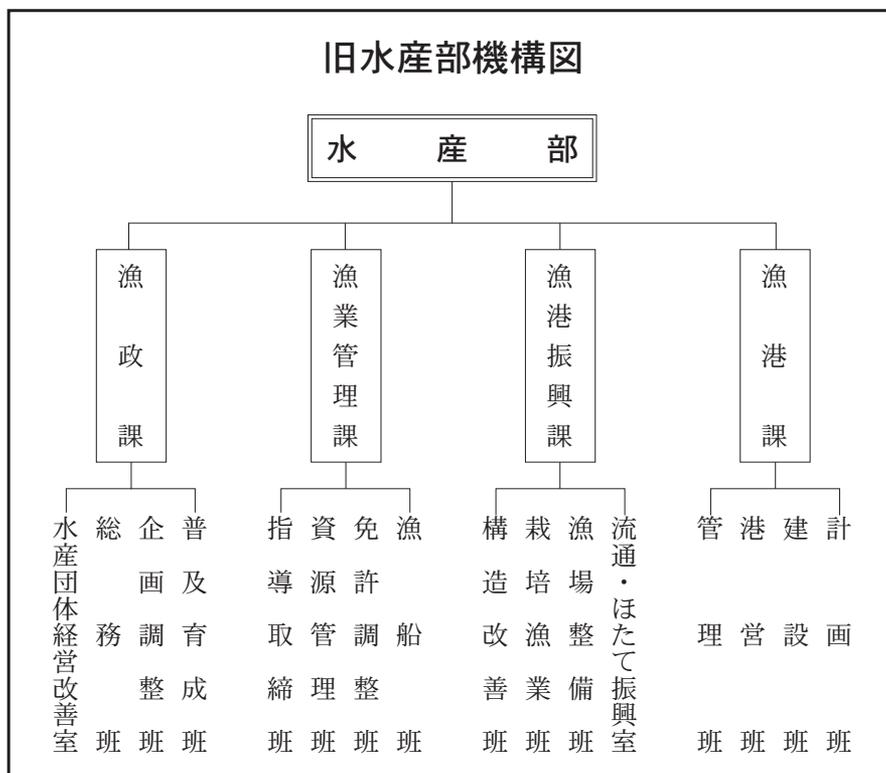
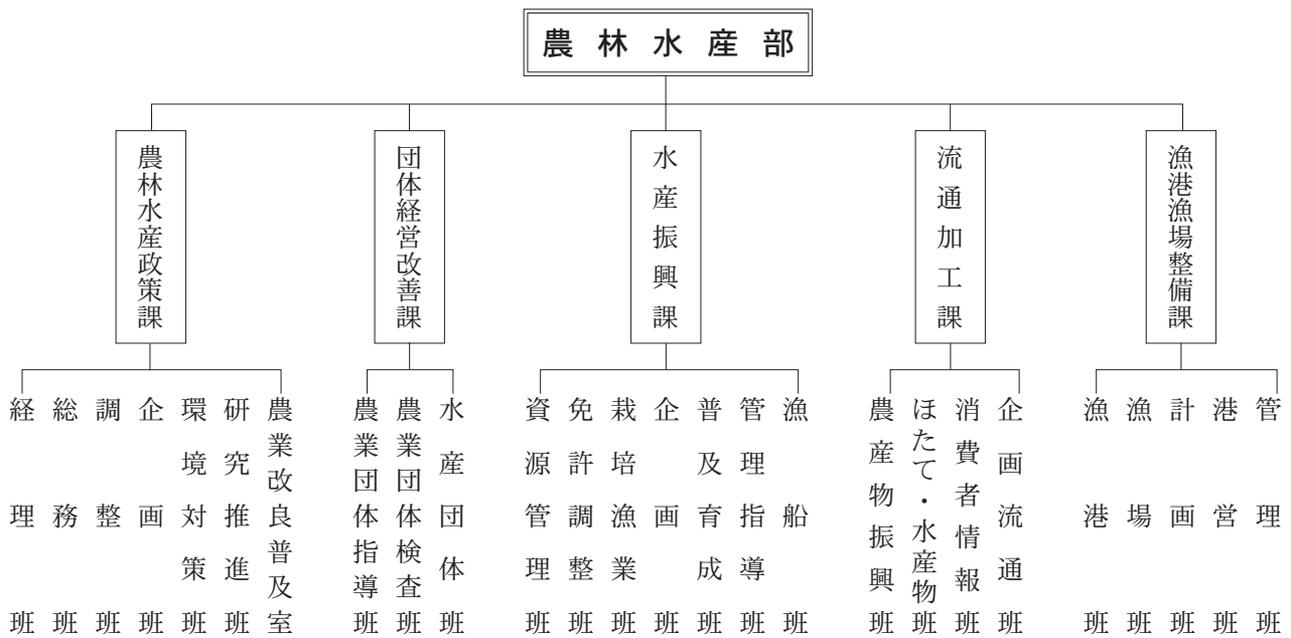
(農林部と水産部統合)

県は、本年度4月1日から8部1室体制を見直し、7部体制とする機構改革を実施した。

新機構では、一次産業にかかわる施策について一体的に取り組む観点から、農林部と水産部を統合して農林水産部を新設した。

農林水産部の機構図は下記のとおり。

青森県農林水産部機構図 (水産関係)



マコガレイの資源管理について

日本海地域、むつ湾地域、太平洋地域の資源管理型漁業実践推進漁業者検討会及び資源管理型漁業実践推進漁業者全体協議会において、マコガレイの資源管理計画について協議がなされ、決議したところであります。資源管理計画の内容は次の通りです。

1 資源管理の必要性

本県では、平成2年に策定したヒラメ資源管理指針に基づき、全長35cm未満の再放流を規制の柱としたヒラメの資源管理型漁業を展開してきた。その結果、ヒラメ資源は順調に回復し、資源管理型漁業の定着が図られている。

一方、マコガレイは青森県全域で漁獲され、漁獲量、漁獲金額が高く、沿岸漁業の依存度が高い重要資源である。近年、活魚出荷への取組もなされ、資源の維持・増大に対する漁業者の関心も高い。本種はヒラメや他のカレイ類と同時に漁獲されることが多く、現在進めているヒラメの資源管理とあわせて管理を行うことが可能である。今後は、マコガレイをヒラメに次ぐ資源管理対象魚種とし、漁業者一丸となってその資源回復を図る必要がある。

2 基本的な考え方

- ・ 現行のヒラメ資源管理の規制に上乗せして管理を実施する。
- ・ 落伍者を出さない資源管理を推進するため、極端に所得が減少するような規制を行わない。
- ・ 価格の安い小型魚は、保護するという考え方を推進、定着させる。

3 具体的方策

- ・ 全漁業種類において全長20cm未満のマコガレイの保護に努める。
- ・ 定置漁業・底建網漁業
全長20cm未満個体の再放流に努める。
- ・ 刺網漁業
かれい刺網の目合規制（3.5寸以上）を徹底する。
- ・ 釣り漁業
全長20cm未満個体の再放流に努める。
- ・ 底びき網漁業
全長20cm未満個体が漁獲個体数全体の10%を越えた場合は操業場所を変更するなどの措置をとる。
- ・ 漁獲方法・販売方法の改善、販売先の拡大などにより価格の向上を図る。

4 推進体制と進め方

- ① 資源管理型漁業漁業者検討会での検討
計画を策定した後、複合的資源管理型漁業促進対策事業で設置されている漁業者検討会において、マコガレイの資源状態や管理効果を検討し、資源管理の充実をめざす。
- ② 普及啓発活動
個々の漁業者に資源管理の考え方について普及啓発を行い、資源管理に対する意識の向上を図る。
- ③ 遊漁者に対する協力依頼
遊漁者に対しマコガレイ資源管理への協力を求める。

マコガレイとは

地域によって呼び名が違います。

日本海：マガレイ

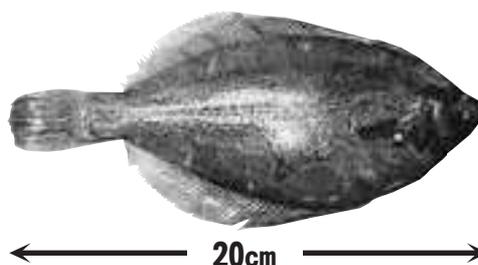
陸奥湾：マガレイ、クロガシラ

津軽海峡：マガレイ

太平洋：クロガシラ

体高は高くてがっしりした体型です。

裏側は全体が白い（グアニン色素が良く発達）。眼隔域はやや幅広く鱗が数列並ぶ。鱗は細かい



第6回全国青年・女性漁業者 交流大会開催される

去る3月6日～7日、東京虎ノ門パストラルにおいて「第6回全国青年・女性漁業者交流大会」が日頃の研究・実践活動の成果を発表するとともに広く研究討論を深めることによって、漁業・漁村の活性化に関する技術・知識などを研鑽することを目的として開催された。

今回の大会は、全国から54のグループが参加し、5分科会に分かれて発表が行われた。本県からは、川内町漁協（川内町ナマコ資源有効利用推進協議会）の板井直樹さんが第1分科会の漁業技術部門で「漁獲管理と漁業収入維持の両立を目指して一干しナマコの生産・販売と、生鮮ナマコの販売改革」と題してナマコの資源管理と高付加価値化について発表した。また、八戸鮫浦漁協婦人部の嶋脇京子さんが第5分科会の地域活動部門で「磯の香りとミネラルたっぷりの味を届けます」と題して水産物の加工と産直活動について日頃の研究・実践活動を発表した。川内町漁協は水産庁長官賞と全漁連会長賞、八戸鮫浦漁協婦人部は全漁連会長賞を受賞した。



嶋脇京子さん



板井直樹さん

県内漁協組合長改選報告

小泊漁協 佐藤 博(新) 川山時雄(旧)

県漁連職員新人紹介



川崎 江梨

昨年4月より県漁連に勤務しておりますが、先輩方の温かい御指導を受け、大分慣れてきた所です。仕事の面では、未熟な点ばかりですので、これからも1つ1つの仕事を確実にこなせるよう頑張っていきたいと思っております。



佐藤 良則

趣味 ドライブ、映画鑑賞

県漁連に入り、まだ一ヶ月しか経っておらず、なかなか慣れない毎日が続いております。早く一人前の職員になれるよう頑張りますのでよろしくお願いいたします。



福士 雅子

入社してから早くも一ヶ月が経ちました。しかし正直に言って仕事は複雑で、まだ覚えられないことが沢山あります。周囲に迷惑ばかりかけている私ですが、早く仕事をこなせるように精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。



斉藤 那智

趣味 読書

県漁連に入社して数ヶ月がたちました。仕事も少しずつおぼえてはきましたが、まだまだわからないことがたくさんありこれからがんばっておぼえていきたいと思っております。

主な水産に関する動き

一月～三月

三月

1日(木)～4日(日)

・青森県沿岸漁業振興協会魚価動向調査

(福岡県他)

6日(火)～7日(水)

・全国青年・女性漁業者交流大会(東京都)

8日(木)

・遊漁船業資源管理啓発会議(青森市)

12日(月)

・資源管理型漁業推進会議(青森市)

13日(火)

・漁業経営基盤強化指導事業全国連絡協議会(東京都)

15日(木)

・むつ湾地区漁協組合長・参事ブロック別会議(青森市)

15日(木)

・むつ湾地区漁協組合長・参事ブロック別会議(青森市)

21日(火)

・シジミシンポジウム(五所川原市)

21日(火)

・活力と魅力溢れる漁村づくり大会日本海地区大会(五所川原市)

26日(月)

・資源管理全体協議会(青森市)

29日(木)

・海面養殖業高度化事業協議会(青森市)

29日(木)

・海と渚のシンポジウム21世紀の地球環境講座(青森市)

29日(木)

・資源管理全体協議会(青森市)

一月

二月

9日(火)

・第12回青森県水産賞表彰式(青森市)

9日(火)～10日(水)

・第42回青森県漁村青壮年女性団体活動実績発表大会(青森市)

10日(水)

・青森県水産業改良普及会通常総会(青森市)

16日(火)

・ほたて関係者新年会(青森市)

17日(水)

・西北五ごみ処理施設湖岸設置絶対反対決起大会(市浦村)

23日(火)

・漁業共済掛金助成等事業に係る陳情(東京都)

29日(月)

・むつ湾漁業青色申告会連合会税務担当者研修会(青森市)

29日(月)

・むつ湾漁業青色申告会連合会税務担当者研修会(青森市)

29日(月)

・むつ湾漁業青色申告会連合会税務担当者研修会(青森市)

修会

(青森市)

県内漁協職員紹介

● 泊 漁 協 ●



1. 最上峰雄
2. 購買課長
3. 特になし
4. 氷屋のハゲのおじさん



1. 平浜節雄
2. 信用課長
3. 特になし
4. 悪い所だらけで良い所がない所



1. 山崎たへ子
2. 総務係長
3. 人の話し相手になること、特技 なし
4. 人情に弱い(弱点)



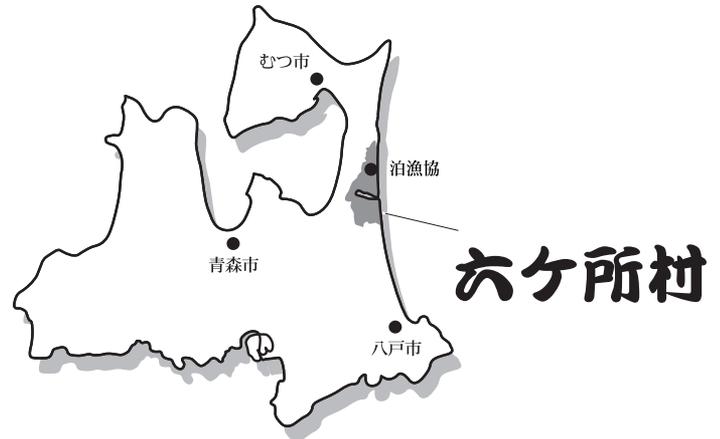
1. 種市四志美
2. 総務係長兼種苗施設担当
3. 「テニス・ピアノ」ナ訳ナイ。
4. 未だ花嫁募集中



1. 中村義信
2. 販売係長
3. パチンコ
4. 宝クジで世界一周、でも買わなければ当たらない宝クジ、いつも夢みている男!

1. 氏名
2. 担当業務
3. 趣味・特技
4. 自己PR

六ヶ所村は下北半島太平洋の側付け根に位置し、北部の泊地区を中心とする漁業と南部地域の農業が基幹産業の総面積2万5,299ha、人口1万1千人、むつ小川原国家石油備蓄基地と原子燃料サイクル施設を擁する村です。今回は、縄文時代全般にわたって集落が形成されていた尾駈沼、鷹架沼周辺の近隣にある泊漁協の皆さんを紹介致します。



1. 金野英幸
2. 参事
3. スポーツ観戦
4. 若いという字は苦しい字に似てるね



1. 辻浦光雄
2. 総務課長
3. 野球(若い頃はやったが今は見るだけ)、釣り(特に船釣り)が大好き
4. 特になし、夢もなくなってもうおしまい

あおもり漁連



1. 能登 忠
2. 購買係
3. ドライブ、映画鑑賞、格闘技観戦
4. 芥川・直木賞どちらかを受賞し文壇へデビュー。(予定)



1. 辻浦 秀子
2. 信用係長
3. テレビ鑑賞(特にサスペンスドラマ)、料理(適当になにかを作る)
4. 性格的には気性難ですがときには、一般に物事を簡単に考え失敗することが多いです。



1. 坂上 知洋
2. 購買係兼製氷担当
3. 車
4. 無口ですが、よろしくお願いたします。



1. 大久保 紀幸
2. 販売主任
3. 酒
4. あと2年で退職です。



1. 目時 規雄
2. 信用係
3. 趣味 ビリヤード
特技 初対面の人であるうと、人に接する時はいつでも笑顔で接することができること
4. 何にでも前向きに取り組んでいくことを心がけ、苦しいながらも充実した時間を過ごせること



1. 吉岡 弘光
2. 総務係
3. スキー、釣り、キャンプ
4. おかしは、世界一周が夢でした。今は、4WDでオーストラリア一周したいと思っています。ビールが好きです。



1. 赤石 充也
2. 臨時職員
3. バドミントン、パソコン
4. 資格試験が人よりたくさんある。



1. 館花 直哉
2. 総務係兼種苗施設担当
3. サッカー観戦(テレビ)
4. サッカークジTOTOを買って1億円当てたい



1. 赤石 唯輔
2. 臨時職員
3. スポーツ、釣り
4. 明るい性格



1. 村畑 麗華
2. 販売係
3. カラオケ
4. 週1回ペースで通うくらいのカラオケ好きです。



1. 濱中 涼子
2. 臨時職員(種苗供給センター担当)
3. 読書
4. 明朗



1. 種市 千代寿
2. 購買係
3. 魚を捌くのが好きです。
4. 物事を頼まれれば嫌といえない自分